

議事録 概要

1 会議名	2023年度 第1回 明石市社会福祉審議会
2 開催日時	2023年（令和5年）7月25日（火曜日）14時00分～14時40分
3 開催場所	明石市役所議会棟 2階 大会議室
4 出席者	審議会委員（28人中23人）
5 次第	<ol style="list-style-type: none">1 開会2 交代委員の紹介3 報告事項 明石市の福祉・こども関係重点施策<ol style="list-style-type: none">(1) 第6次障害者計画及び障害福祉計画（第7期）・障害児福祉計画（第3期）の策定について(2) 高齢者いきいき福祉計画及び第9期介護保険事業計画の策定について(3) 福祉行政にかかる基金の整理について(4) その他の報告事項について<ul style="list-style-type: none">・明石市障害者福祉専門分科会 開催状況について・待機児童対策の状況報告について4 その他5 閉会
6 配付資料等一覧	<ul style="list-style-type: none">・会議次第・委員名簿・座席図・明石市の福祉・こども関係重点施策の説明 資料
7 会議の全部内容または進行記録	詳細については別紙参照

<p>司会</p>	<p>1 開会（14時00分）</p> <p>本会議は委員28名のうち、過半数を超える23名が出席しており、明石市社会福祉審議会条例第6条第3項の規定に定める会議の成立要件を満たしていることを報告します。</p> <p>それでは、議事に先立ちまして市長よりご挨拶を申し上げます。</p>
<p>市長</p>	<p>本日は本当に大変お忙しい中、明石市社会福祉審議会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>平素より明石市の福祉・こども施策におきまして、深いご理解とご尽力をいただいておりますこと、この場をお借りして心よりお礼申し上げます。</p> <p>明石市では、これまで、「こどもを核としたまちづくり」、「誰一人取り残さないまちづくり」を基本理念とした市政運営を行い、誰もが住み慣れた地域で自分らしく、安心して暮らし続けられるまちづくりを進めてまいりました。</p> <p>私はこの5月1日に市長に就任させていただきましたけれども、これまでと変わらず、これらの施策をしっかりと検証してまいりたいと思っております。</p> <p>そしてさらに今後は、より一層きめ細やかな支援に取り組み、一人一人に寄り添うやさしいまちになるよう、市民の皆様の声を丁寧にお聞きしながら取り組みを進めてまいりたいと思っております。</p> <p>そういった取り組みを進める中で、高齢者・障害者福祉や、子供に関する事項を調査審議する本審議会は、非常に重要な審議会です。</p> <p>本日、明石市よりご報告させていただきます、福祉・こども関連重点施策につきましても、ぜひ様々な立場からご意見、ご質問を頂戴できればと思っておりますので、本日はどうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>司会</p>	<p>恐れ入りますが市長におかれましては次の公務がありますため、ここで退出をさせていただきます。</p> <p>それでは、早速でございますが、議事に移らせていただきます。進行につきましては阪田委員長よりお願いいたします。</p>
<p>委員長</p>	<p>2 交代委員の紹介</p> <p>それでは、まず交代委員の紹介をさせていただきます。資料をご覧ください。</p> <p>役員改選等で、新たに6名の方が委員になりました。</p> <p>本日は会議時間が限られているため、お一人ずつの自己紹介は割愛させていただきます。</p> <p>中学校長会の小和委員、幼稚園長会の戎井委員、保育所長会の谷河委員、社会福祉協議会の吉川委員、こども財団の石角委員、本日欠席ですが保健所の宮村委員、以上どうぞよろしくお願い致します。</p>

	<p>それでは、次第3 報告事項「明石市の福祉・こども関係重点施策」に移らせていただきます。</p>
委員長	<p>3 報告事項 明石市の福祉・こども関係重点施策について</p> <p>1点目の「第6次障害者計画及び障害福祉計画（第7期）・障害児福祉計画（第3期）の策定について」、所管部署より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>— 資料に基づき、市担当部署より説明 —</p>
委員長	<p>何かご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。</p> <p>ないようですので、2点目の「高齢者いきいき福祉計画及び第9期介護保険事業計画の策定について」、所管部署より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>— 資料に基づき、市担当部署より説明 —</p>
委員長	<p>何かご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。</p>
委員	<p>令和5年度の予算・事業展開においてフレイル予防事業が具体的に提案され、実施されるようになりました。</p> <p>住民の健康がコロナ禍で失われていき、体力的・精神的・社会との繋がりも弱っていく、いわゆるフレイル化、あるいは認知症が増悪していくなど、私たちが診療を行っている病院や介護施設においても医療やケアが非常に困難な状況が多くなってきています。</p> <p>そのような状況の中で、フレイル予防を今年度以降も引き続きやっていただきたいという思いがあります。今後、高齢者福祉専門分科会で検討されていくということですので、これは分科会の委員の方々にお願いすることになるかと思うのですが、今後おそらく展開されるフレイル予防というのは、いわゆる身体的な虚弱、精神的心の弱さ、あるいはそれに伴って社会的な弱者となっているというフレイルサイクルをたどっていくということを何とか防ごうということですので、基本的には多面的な面を持っている。単に介護予防だけではなく、高齢者の活動というものを自覚的に高めていき、それから自分たちが生きがいを感じて、その活力が社会や地域の活性化に繋がっていくといういろんな連環した内容となります。</p> <p>例えば、高齢者の活躍できる場の充実と社会参加や健康づくり推進、地域づくり支援という形で、フレイル予防というのは高齢者の健康と地域の活性化など包括的に支援していく、非常に大きな事業展開のプロジェクトになるのだということをぜひともお考えいただきご検討いただきたい。</p>

委員長	はい、どうもありがとうございました。担当部局の方から何かありますか。
事務局	<p>ありがとうございます。</p> <p>元々フレイル予防というのは、既に市の事業ではふれあいの里での健康体操や生涯学習、居場所づくりとしてのカフェとか、そういうこと全てがフレイル予防に繋がる事業であると考えています。</p> <p>今年度実施しますフレイル予防事業につきましては、今仰っていただいた通りで、繋げていく必要があると考えております。</p> <p>最近やっとフレイルという言葉がコロナ禍において普及したという面もあるのですが、東京大学の高齢社会総合研究機構長の飯島教授に来ていただいて、講演会を行い、市民のフレイルに関する知識や関心を高めていこうと思っております。</p> <p>それを踏まえて次に、知識を市民の方に習得していただくためのサポーター養成などを展開し、総合的な取り組みを進めていけたらと思っております。すぐに理想形とはならないかもわかりませんが、ステップとして今年度一つずつ進めていこうと思っております。</p>
委員	<p>どうもありがとうございます。ぜひともそういう方向で進めていただければありがたいなと思います。</p> <p>一つは、地域にある程度根ざしていく組織づくり、例えば行政や各地区の地域総合支援センター、保健所、医師会・歯科医師会・薬剤師会、介護施設、自治会やまちづくり協議会など、多様な人々が集まるゾーン会議などで、その地域のニーズを考えながら、検討して地域に浸透させていこうという一つの土台となる。それを活用するかなどのお考えをお伺いしたい。</p>
事務局	<p>まだそこまで考えついておりません。結局地域でどれだけできるか、地域の方がどれだけフレイルの話や、フレイルの取り組みが出来るかという話に尽きるかと思えます。</p> <p>ですので、いただいた意見を参考しながら今後進めていきたいと思えます。まず最初のステップとして、講演会とサポーター養成講座を市民の方にいろんなところから来ていただいて、おそらく声をかけると既に地域で展開していきたいというやる気のある方が集まって来られると思えますので、まずそこからスタートしたいと思っております。</p>
委員長	<p>はい、どうもありがとうございました。他にございますでしょうか？</p> <p>はい、ではないようですので、次に3点目の「福祉行政に係る基金の整理について」、所管部署の方から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p align="center">— 資料に基づき、市担当部署より説明 —</p>

委員長	<p>ありがとうございました。ただいまの説明につきましてご質問ご意見等ございましたらお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">— 質問・意見なし —</p>
委員長	<p>次は4点目でございます。その他の報告事項に移ります。</p> <p>一つ目の明石市障害者福祉専門部会分科会開催状況については2月の社会福祉審議会でご報告いただいた内容にそれ以降の報告を追記しておりますので、ご確認ください。</p> <p>では二つ目の待機児童対策の状況報告について所管部署よりご説明の方お願いいたします。</p>
事務局	<p style="text-align: center;">— 資料に基づき、市担当部署より説明 —</p>
委員長	<p>ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、何かご質問、ご意見等ございましたらお願いします。</p> <p style="text-align: center;">— 質問・意見なし —</p>
委員長	<p>報告事項につきましては以上です。</p> <p>その他何かご質問等ございましたらお願いいたします。はいどうぞ。</p>
委員	<p>来年明商に福祉科が開設されることにご質問したいと思います。介護業界では常に人材不足する中、来年4月に明商に福祉科が開設されることになり、関係部署の方には非常に感謝するとともに、少しでも人材が確保できればと思っております。</p> <p>9月より募集のポスターやリーフレットが完成するというふうに聞いております。ところが現在、介護専門学校が閉設されている状況を考え、少子高齢化が進み、新規募集学生数が定員割れすることも懸念されます。</p> <p>団塊の世代が後期高齢者になり、介護される方が増えるのに、介護する人員が足りないことに原因があります。</p> <p>介護現場では慢性的人材不足が深刻化しており、19年度に比べ23年度に22万人ケアワーカーが必要に対して、21年度増加人数は41万人、介護職人材が非常に不足しております。</p> <p>団塊の世代のジュニアが自宅において、親や家族の介護の知識を身につけるために、中卒生のみならず、一般社会人の卒まで広げてもらいたい。</p> <p>明石市保健福祉施設協会から明商福祉科の開設をお願いした段階では、一般卒の希望をしていたと思います。ただし当初は明石高校ということだったので、一般卒というのが難しかったのかもわかりませんが、私達が最初希望をしたのは、一般社</p>

	<p>会人枠まで広げてもらいたいということでした。その辺のところをお聞きしたいと思います。</p> <p>それと7月13日、明石市保健福祉施設協会と施設人材育成課との意見交換の場で、ハローワークや人材センターを通じての応募はなく、現在、人材紹介会社からの派遣者のみに頼っており、今後運営を続けることに不安であることを申し上げました。</p> <p>介護職にリターンする人や明石市内で業務を続けている人に、5年、10年、20年に対して報奨金制度を作ってもらいたい。また、外国人を受け入れる環境に対しても、神戸市支援方式のようなものを明石市も持ってもらいたい。</p> <p>神戸モデルとは、神戸市、神戸国際大学、社会福祉法人報恩会の3者が仲介者を介さずに、外国から人材を受け、施設に紹介するというものです。また医師や大学が生活費を負担するという制度です。この辺についてお伺いしたいです。</p> <p>まず1点目、明商福祉科の話でございます。現在建設の準備段階に入っておりますので、教育委員会の方で所管しておりますので、詳細の部分につきましては教育委員会に確認してという形で回答させていただければと思っております。</p> <p>基本的には明石商業高校の一つの科として作られるということなので募集する生徒につきましては委員がおっしゃったように、おそらく中学校の新卒生が中心になると考えております。こちらを確認しまして募集要項等を入手しましたら、必要に応じて情報提供させていただければと思います。</p> <p>福祉人材の確保という点につきましては、中卒の新卒生のみならず、多くの方に福祉の現場に携わっていただきたいという思いは私たちも全く同じでございます。ですので、福祉を志してやりたいと思っている方、あるいは一旦福祉の現場から離れた方が再度就職しやすいようにということで資格取得の助成等を行っておりますので、こういったところをもっと広く周知・充実を図っていきたいと思っております。</p> <p>続きまして2点目ですが、7月13日に施設人材育成課と施設協会でお話いただいたとの報告を聞いておりますが、様々な人材確保など、他市の状況も含めてご要望いただいているとお伺いしております。一つ一つできること、なかなか難しいこと、将来的にやっていくことを精査し、またご回答させていただきたいと思っております。</p>
事務局	
委員長	<p>他にございますでしょうか。どうぞ。</p>
委員	<p>質問です。</p> <p>障害者計画は、計画期間5年、障害福祉計画・障害児福祉計画は、計画期間3年ということで、5年と3年という期間でやっていて15年に一度一致するときがあり、たまたま今年がその年ということですが、これから6年と3年、つまり3年に</p>

事務局	<p>一度見直すという形のスケジュールが出されております。</p> <p>今後は 6 年のうちに二度見直しを図るということに変更されるということですか。</p> <p>ご指摘の通りで、計画そのものの期間を今回限りではなく、今後 6 年計画とし、3 年ごとの見直しを随時行っていくと考えております。以上です。</p>
委員長	<p>はい、ありがとうございました。他にございますでしょうか。</p> <p>— 質問・意見なし —</p>
委員長	<p>4 その他</p> <p>それでは次第 4 その他に移りたいと思います。</p> <p>次回第 2 回は 11 月頃の開催を予定しています。</p> <p>日程につきましては、多少前後する場合も考えられますので、どうぞよろしくお願ひします。</p> <p>議題につきましては、今回、ご報告をいただきました、「第 6 次障害者計画及び障害福祉計画（第 7 期）・障害児福祉計画（第 3 期）」及び「高齢者いきいき福祉計画及び第 9 期介護保険事業計画」素案の確認・審議 等とする予定です。</p> <p>この他、委員の皆様より、市の福祉施策等に関し、ご意見・ご質問等がございましたらお願ひします。</p> <p>ではないようですので、進行の方を事務局の方にお返しします。連絡事項等がありましたらお願ひいたします。</p>
事務局	<p>— 事務局より事務連絡 —</p> <p>5 閉会（14 時 45 分）</p>